Topic

COLUMN：先生紹介　安平朱里（カイコベ蒲生四丁目教室）



自信は小さな積み重ねから

初めまして！カイコベ蒲生四丁目教室で個別指導を担当しております、安平朱里と申します。

私は小学生の頃、古市教室のそろばんと関目教室の集団クラスで開智にお世話になりました。

私は中学から大学の約10年間ソフトテニスをやっているのですが、その10年間で学んだことを2つお話したいと思います。

1つ目は、「練習でできないことは、本番でもできない」ということです。普段の練習でできていないプレーを本番で成功させるのは、なかなか難しいものです。「やってみればできるだろう」と思っていても、いざ試合になると、ボールを打つことさえ怖くなり、思うようなプレーができないことがあります。だからこそ、本番を想定した練習を繰り返し、自信をつけてから試合に臨むことが大切です。これは勉強にも同じことが言えます。模試や過去問で解けなかった問題は、入試本番でも簡単には解けません。むしろ、本番の緊張も加わり、さらに難しく感じてしまうかもしれません。皆さんも、部活動の大切な試合の前には何度も練習しますよね？勉強も同じです。過去問や問題演習にたくさん取り組み、たくさん間違え、しっかり解き直しましょう。そうした積み重ねが自信につながり、本番で力を発揮することにつながると思います！

2つ目は、「得意ではないことでも、できることはある」ということです。私は正直テニスがめちゃくちゃ上手という訳ではありません。でも、応援だけは自信があります。自分の声掛けで選手の顔が明るくなり、良いプレーに繋がってる気がしてます。このように、得意ではないことの中にも、自信を持てることや自分にできることがあると思います。これを読んでいる皆さんの中にも勉強に苦手意識を持っている人がいると思います。でも、毎日勉強机に向かうこと、自習に行くこと、ワークを何周も解くこと、皆さんが当たり前だと思っていることも、実はとても凄いことです。ちなみに私は、勉強机に向かうことすらなかなかできません。だからこそ、自分ができていることにも目を向けて、自信を持ってほしいです。そして、少しずつできることを増やしていきましょう！

最後に、勉強は間違えてこそ伸びるものです。間違えることを恐れず、遠慮せずにどんどん質問してください！私も皆さんの疑問に全力で答えます。一緒に目標に向かって頑張っていきましょう！



グレンのちょっとイイ話

TEACHER'S VOICE　グレン・サントス（かいち学童）

新たな一歩――2027年4月、諸口学童が開校します！

2027年4月、かいち学童の新しい教室として、諸口学童が開校します！より多くのご家庭を支え、子どもたちが安心して学び、友達と交流しながら、楽しく放課後を過ごせる場所をつくっていきます。

城東区では、かいち学童への評判が口コミを通じて広がっています。保護者の皆さまからは、日々の見守りや活動にご満足いただき、かいち学童を選んでよかったという、うれしいお声をいただいています。こうした言葉が私たちの大きな励みとなり、よりよい学童づくりへの意欲につながっています。

諸口学童にも、早くから大きな関心をお寄せいただいています。Instagramに広告を掲載した最初の1週間で、2027年度の入会をご検討されているご家庭から、7件のお電話をいただきました。現在、すでに7名のお子さまの入会が決まっています。2027年度の定員は10名のため、残る募集枠は3名となりました。これまでの反響から、今月末までには定員に達するのではないかと期待しています。皆さまからの信頼と温かいご支援に、心より感謝申し上げます。

既存の各学童でも、日々の運営や活動は順調に進んでいます。子どもたちが楽しく過ごしていることはもちろん、先生たちも喜びを感じながら日々の活動に取り組んでいます。円滑な運営と、工夫を凝らした活動、そして職員同士の協力が、みんなが笑顔で過ごせる環境につながっています。諸口学童でも、このような温かい雰囲気を大切にしていきます。



▲カイチ予備校・カイコベの2F（なんと120坪）に諸口教室の移転に伴い、カイチ学童ができます。

今回の開校は、新しいことに挑戦し、成長を続けるカイチの姿勢を表す一歩でもあります。パスカルキッズのフィリピン展開に向けた準備も進めながら、子どもたちが学び、自分の可能性を広げられる機会を、これからも増やしていきたいと考えています。

2027年4月、新しい子供達や保護者の皆さまとお会いできることを、職員一同楽しみにしています。いつもカイチを選び、支えてくださり、ありがとうございます。子供達も先生たちも、毎日笑顔で成長できる諸口学童を、皆さまとともにつくっていきます。

カイチからのお知らせ

■11月上旬より期末模擬テストを各教室で実施します。
■11月8日(日)は中学3年生対象の五ツ木模試が実施されます。
■11月25日(水)・26日(木)は小学部の診断テストの予定です。
■12月5日(土)に珠算競技大会を実施します。代表に選ばれたみんなは教室の代表としてがんばってください。
■受験生にとって大切なテストが続く中、風邪にかかる人が増えています。手洗い、うがいを徹底していきましょう。
<受験生を持つ保護者の皆様へ>
11月はテストが続き、精神的に不安定になる生徒達も出てくる時期です。心配やご相談がある時は、遠慮なく各教室にご相談ください。

発行／株式会社 開智総合学院　〒536-0004 大阪市城東区今福西2−1−8モデラートWASHIMI201　TEL.06-6939-0008

Growing

生徒と保護者と先生の共育ニュースレター

November 2026
Vol.170
毎月10日発行

【本　部】
城東区今福西2−1−8モデラートWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】
城東区今福西 2-9-20
TEL.06-6934-4662
【諸口教室】
鶴見区諸口 4-14-9-1F
TEL.06-6912-3984
【今津教室】
鶴見区今津南 1-6-2-1F
TEL.06-6167-9722
【高殿教室】
城東区成育 5-22-10-2F
TEL.06-6786-1008
【エニグマ】
中央区谷町 9-4-5-3F
TEL.06-6777-1563
【カイコベ】
城東区今福西 3-4-9
TEL.06-6180-6565

【今福第2教室】
城東区今福西 2-16-8
TEL.06-6931-2000
【関目教室】
城東区関目 4-6-17-2F・3F
TEL.06-6934-8117
【古市教室】
城東区古市 3-21-8
TEL.06-6931-0467
【カイチ予備校】
城東区今福西 1-10-17
TEL.06-6935-2220
【万緑会】
天王寺区上本町 6-9-10-3F
TEL.06-6772-5011

授業だけじゃない。カイチの先生たちの一日

～たくさんの大人で、子どもたちを見る～



高木 秀章（塾長）

さて教室では先日、10月の五ツ木模試の結果が返ってきました。
カイチ生たち、すごい結果を残しています！
なんと、各中学校のトップ10に57名が入りました。
主な結果をご紹介すると、鯰江中10名全員、茨田北中9名、茨田中7名、横堤中5名、旭陽中5名、旭東中3名、今津中3名、高井田中5名、菫中3名、緑中3名と多くの生徒が上位に入りました。

本当にすごいです。でも、受験生にとってはここからが大切。特に11月は重要な時期です。結果に安心して気を抜かず、みんな頑張っていきましょう。

さて今回は少し趣向を変えて、「カイチの先生たちは、授業以外の時間に何をしているの？」というお話をしたいと思います。今回は、そんな「授業だけではない、カイチの先生たちの一日」をご紹介します。



▲トーキングキッズの会議。理科実験のアイディアを考えています。

13:00　先生たちのプロジェクト会議

お昼の13時から15時頃までは、先生ごとにさまざまなプロジェクト会議を行っています。カイチの特徴の一つが、教室で使う指導システムや運営システムの多くを、自分たちで考え、開発していることです。

「冬期講習はどうする？」「来年度はこんなことをやってみよう」など、さまざまな話し合いをしています。

では、会議がない先生は何をしているのか。予習です。

先生達は、教室に入ればいきなり授業ができるわけではありません。一つの授業をするために結構な予習が必要です。

例えば私が担当している中3では、授業冒頭で生徒たちが自宅で解いてきた模試の解説をします。当然、私自身も事前に模試を解き、どこをどう解説するのか整理しておかなければなりません。そして、模試解説で時間を取られる分、授業内容はより短い時間で端的に説明する工夫が必要です。

いい授業をするためには、やはり準備は必須です。



▲結構予習には時間がかかります。

15:50　キッズの子どもたちがやってきます

キッズクラス(珠算・パスカル・トーキングキッズ)がある日は、15時50分になると、子どもたちがやってきます。学童の先生たちも、たくさんの子どもたちを連れてきてくれます。

ここで大切になるのが、保護者の皆さん、学童の先生、キッズ担当の先生たちとの連携です。「授業中、ちょっとしたことで泣いちゃった」「鼻血が出た」「今日はこのお知らせを渡した」。小さい子供達を指導する上では、こんなちょっとした情報が大切です。

ですから、先生たちは、「これ、伝えておいてね」「忘れないように声をかけてね」と細かな情報を共有しながら子どもたちを見ています。もちろん、この連携にはTalking Kidsの外国人の先生たちも加わります。現在カイチには6名の外国人社員の先生がいますので、こうした光景もすっかり日常になっています。

さて教室では先日、10月の五ツ木模試の結果が返ってきました。
カイチ生たち、すごい結果を残しています！
なんと、各中学校のトップ10に57名が入りました。
主な結果をご紹介すると、鯰江中10名全員、茨田北中9名、茨田中7名、横堤中5名、旭陽中5名、旭東中3名、今津中3名、高井田中5名、菫中3名、緑中3名と多くの生徒が上位に入りました。

本当にすごいです。でも、受験生にとってはここからが大切。特に11月は重要な時期です。結果に安心して気を抜かず、みんな頑張っていきましょう。

さて今回は少し趣向を変えて、「カイチの先生たちは、授業以外の時間に何をしているの？」というお話をしたいと思います。今回は、そんな「授業だけではない、カイチの先生たちの一日」をご紹介します。

13:00　先生たちのプロジェクト会議

お昼の13時から15時頃までは、先生ごとにさまざまなプロジェクト会議を行っています。カイチの特徴の一つが、教室で使う指導システムや運営システムの多くを、自分たちで考え、開発していることです。

「冬期講習はどうする？」「来年度はこんなことをやってみよう」など、さまざまな話し合いをしています。

では、会議がない先生は何をしているのか。予習です。

先生達は、教室に入ればいきなり授業ができるわけではありません。一つの授業をするために結構な予習が必要です。

例えば私が担当している中3では、授業冒頭で生徒たちが自宅で解いてきた模試の解説をします。当然、私自身も事前に模試を解き、どこをどう解説するのか整理しておかなければなりません。そして、模試解説で時間を取られる分、授業内容はより短い時間で端的に説明する工夫が必要です。

いい授業をするためには、やはり準備は必須です。

15:50　キッズの子どもたちがやってきます

キッズクラス(珠算・パスカル・トーキングキッズ)がある日は、15時50分になると、子どもたちがやってきます。学童の先生たちも、たくさんの子どもたちを連れてきてくれます。

ここで大切になるのが、保護者の皆さん、学童の先生、キッズ担当の先生たちとの連携です。「授業中、ちょっとしたことで泣いちゃった」「鼻血が出た」「今日はこのお知らせを渡した」。小さい子供達を指導する上では、こんなちょっとした情報が大切です。

ですから、先生たちは、「これ、伝えておいてね」「忘れないように声をかけてね」と細かな情報を共有しながら子どもたちを見ています。もちろん、この連携にはTalking Kidsの外国人の先生たちも加わります。現在カイチには6名の外国人社員の先生がいますので、こうした光景もすっかり日常になっています。



▲終礼の様子。みんなで色々なことを共有して指導に活かします。

November 2026 Vol.170

Focus



CLASSROOM REPORT 教室レポート

気づけば7年目

近久 賢治（高殿教室）

暑い夏も影を潜め、涼しくなってきました。高殿教室の近久です。

今年も高殿教室はと大忙しですが、生徒並びに保護者の皆様方のご協力もあり無事に過ごせております。そんな高殿教室の紹介を今回はさせていただきます。

まずはキッズ部門です。10月末日現在、珠算は上級検定、競技会練習とわいわいやっております。競技会の練習も私が珠算に参加するようになって早数年。この時期は毎回の授業が戦いです。私が珠算生に9桁～18桁の読み上げ算を結構な速さで読んでいたら、同じ教室で自習していた中3生が「先生、小学生にも容赦ないっすね」と驚いていました。できる小学生相手にこちらも必死です。読み手の私がつっかえると10点券をみんなに配ります。

みんな本当によく頑張っています。昨今の子どもは効率やタイムパフォーマンスを重視してなかなか物事をやらない、というような話を聞いたことがありますが、目の前の問題に真摯に立ち向かう子供たちは素晴らしいです。

トーキングキッズの生徒たちも、日々頑張っております。ハロウィンレッスンではにぎやかな声が聞こえてきて楽しそうでした。

3年前、私がトーキングキッズの授業に入っていたころ、このハロウィンレッスン時に私立高校の先生が受験資料を持ってご挨拶に来られ、仮装したまま出迎えてしまったことがあります。先日、たまたまその同じ高校の先生とお話する機会がありまして「今年もあれやってるんですか？」と聞かれました。「もう引退しました」と言うとちょっと寂しそうでした。

また、トーキングキッズでは、1月末の英検に向けてそろそろ過去問演習が始まります。英検というか、塾でのテストが初めてという子もいるので、気圧されず頑張ってほしいです。



▲この格好で応対しました。すみませんでした。

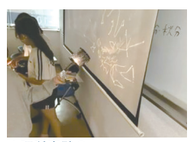
また、パスカルキッズは30人以上もの方に通っていただいております。授業の合間の時間はお母さん方と先生の話声がそこかしこで聞こえる、賑やかな昼下がりです。私自身現在パスカルキッズに参加することが少なくなってきていますが、ビンゴ大会やクリスマス会などを通して元気に挨拶してくれる彼らを見て元気をもらっています。これからも素直に頑張っていってもらいたいです。

続いて小学部です。人数も小5小6合わせて過去最大の25人となり、ついに地域に定着してきたな、という感じです。みんな元気にわいわいやっています。理科実験、ボードゲームなど特別授業の日には生徒たちの色んな一面が見れて楽しいです。



▲ビンゴ大会にて。良い笑顔です。

徐々に診断テスト上位者で貼りだされる子も増えてきました。勉強の習慣を身につけ、貼り出しの常連になっていただきたいものです。



▲理科実験のプラネタリウム作りです。

続いて中学部です。中1は小学生の雰囲気がだいぶ抜けてきたように思います。大人になりつつある大切な1年ですのでここでしっかり勉強の習慣を身に着けて「丁寧にやればできる」ということを実感してもらいたいです。中2クラスは定期模擬の途中経過に一喜一憂し、1位を巡ってわいわいしている姿がよく見受けられます。正にカイチの集団クラス！と言った感じです。テスト前の塾の課題、学校の課題と計画通りこなせるようになる子が増えてきて嬉しいです。グッタリしている子も見受けられますが、ここが踏ん張り時です。辛い時やしんどい時に少しずつでも進めるんだ、という気概があると、来年必ず良い方向に進みます。しっかり目標に目を向けて取り組んでください。

そして中3ですが、模試や面談など進路に向けていよいよ受験校が決まってくる時期です。足元をすくわれないよう、自分に何が必要かを意識し、全力で取り組むようにしてください。その経験で将来の自分を決めます。

高殿教室は今年で7年目となります。毎年恒例の激励会にも、卒業生が来てくれるようになり、また激励会じゃなくても駐輪場で卒業生やお母さん方にご挨拶を頂いたり、「開智総合学院」という塾が地域に根差してきている様子を見守ることができて感無量です。10年経っても20年経ってもこの教室が地域に貢献できるよう、これからも生徒たちのことを第一に考え、どうすれば満足のいく結果になるか、これからも全力でサポートしますので、よろしくお願いします。



▲卒業生の激励です。この時は毎年ウルっときます。

Education



KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

私立入試まであと100日をきりました

岡本 泰之（今津教室）

このGROWINGが配られるころには、中学生は2学期期末テスト直前の時期ではないでしょうか。

タイトルにもあるように、中学3年生はいよいよ高校受験が近づいてきました。2月の私立高校入試、3月の公立高校入試までの数か月、いろいろと落ち着かない日々が続くと思います。

今回は、この時期の心構えとして、是非気をつけてほしいことを書きたいGROWINGを担当したときにも同じようなことを書きましたが、何年経っても大切なことだと思いますので、改めてお伝えします。

まずは体調管理

①早寝早起きを心掛ける

生活のリズムを崩すと、体調も崩しやすくなります。普段のリズムをできるだけ変えないようにしましょう。

この時期、焦って夜遅くまで勉強する人もいるかもしれませんが、睡眠時間を削らないことが大切です。勉強時間を確保したいのであれば、まず1日のスケジュールを見直し、無駄に過ごしている時間がないか考えてみましょう。

② 手洗い・うがいをする

外から帰ったら、手洗い・うがいを忘れずに。基本的なことですが、体調管理を意識することが大切です。

また、インフルエンザなどへの対策も考えておきましょう。試験当日に体調を崩さないことはもちろんですが、体調不良で勉強できない期間ができると、学習計画がずれ、それが焦りにつながってしまいます。

早寝早起きとあわせて、体調管理には十分気をつけてください。

次に、勉強面です

① 目標をもつ

この時期ですから、志望校はある程度固まってきていると思います。「何を今さら」と思うかもしれません。

でも、目標を意識することはメチャクチャ大切です。

テストが続き、毎日の勉強をただ「こなすだけ」になっていませんか。

そんな人は一度立ち止まって、「自分はこの学校に合格するために、今勉強している」と思い直してみてください。

そう考えたとき、本当に今の取り組み方でいいのでしょうか。

勉強時間をもっと増やせ、と言っているのではありません。「合格」を意識するだけで、間違い直し一つ、英単語の暗記一つへの向き合い方が変わります。同じ1時間でも、学習の濃さが変わってくるはずです。

もう一度、自分の目標を見つめ直してみてください。

机の前に「○○高校に合格する」と書いて貼っておくだけでも、日々の意識はきっと変わります。

② 集中する

だらだら勉強するのではなく、「集中してやる」ことを意識してください。

そのために有効なのが、時間を決めて勉強することです。

「ここまで集中する」と時間を決め、時間が来たら休憩する。そしてまた集中する。

集中 → 休憩 → 集中 → 休憩

このサイクルを意識してみてください。

長時間机に向かっていることよりも、その時間にどれだけ集中できたかが大切です。

③ 先のことを考えすぎない

「なぜこんなに勉強しないといけないのだろう」「一生懸命やっているのに、なぜ点数が上がらないのだろう」頑張っているからこそ、そんなことを考えてしまうときがあります。

それに対する先生なりの答えは、「今はきっと、わからなくてもいい」です。

これから先、みなさんは成長する中で、いくつもの大きな壁にぶつかると思います。そして、その壁を乗り越えなければならないときが必ずやってきます。

そのときに、

「あの時も頑張れた。だから今回も自分ならきっとできる」

と、一歩前に進む力を与えてくれるのは、過去に頑張った自分です。

人生では、その一歩を踏み出せるかどうかが、とても大切だと思います。

それは高校生になった時かもしれません。大学生になった時かもしれません。社会人になってからかもしれません。

いつか大きな困難にぶつかったとき、今頑張っていることの意味がわかる日が来ると思います。

だから今は、先のことを考えすぎず、**目の前のやるべきことに一生懸命取り組んでください。**

12月には私立高校の受験校が決まり、併願する人は公立高校をどこに受験するかも、ほぼ決まってきます。

決まれば、あとはそこに向かって努力するだけです。

そのときに、今日書いたことを少しでも思い出してもらえたらと思います。

中学3年生のみんな、あと少しです！頑張ろう！！